

手足の不自由な 子どもたちを守り育む運動

募金のご協力をお願いします

手足の不自由な子どもたちのために「星野富弘氏・花の詩画クリアファイル」「ぐんまちゃんクリアファイル」「ぐんまちゃんふせん」「ぐんまちゃんメモ帳」の募金運動にご協力をお願いします。皆さまからお預かりした大切な寄付金は群馬県内の手足の不自由な子どもたちのために役立つ事業に使わせていただきます。

クリアファイル・
ふせん頒布期間

平成29年8月1日～平成30年2月10日

星野富弘氏・花の詩画クリアファイル
1枚 150円 (A4)



「花の詩画クリアファイル」は、県内の手足の不自由な子どもたちのために星野富弘さんのご厚意により作品を提供していただいています。

ぐんまちゃんクリアファイル
1枚 150円 (A4)



ぐんまちゃんふせん
1冊(50枚)
200円 (75mm×70mm)



ぐんまちゃんメモ帳
1冊(50枚) 100円 (85mm×85mm)



表紙



中面

お申し込み・お問い合わせ

群馬県肢体不自由児協会 〒371-8570 前橋市大手町1-1-1 (県庁障害政策課内) TEL.027-226-2634 FAX.027-224-4776
E-mail:gunma-sk@gunma-sikyokai.com <http://www.gunma-sikyokai.com/>

赤い羽根共同募金の助成を受け、協会ホームページをリニューアルしました **群馬県肢体不自由児協会** で検索をお願いします。

平成28年度「心の輪を広げる体験作文・障害者週間のポスター」作品

平成28年度最優秀作品・小学生部門

未来のために変えていこう

館林市立美園小学校 6年 海宝希実

この夏、戦後最悪の事件が起きてしまいました。障害者施設に入っている方々が亡くなるという事件をニュースや新聞などで聞きました。私は何故そんな事が起きてしまったのかと考えました。日本は物理的にも感情的にも、障害者を隔離する傾向があると思います。障害者に目を向け、健常者は何をすれば差別や偏見をなくせるか、この事件を機にたくさん議論した方がいいと思いました。亡くなった方の遺族の方が、生きた証を世間に公表できないつらさが報道されていました。しかし、どんな時も人は一人では生きていけないということを忘れてはいけません。

私は電車で出かけた時、車いすに乗っている人がいました。乗り降りする時に、段差やすきまがあるのにどうするのかなと思っていました。車いすの人が降りようとドア近くで待っていると、ドアが開くと駅員さんがホームと電車のすきまを平らにするスロープ板を上げました。その板を車いすの人が降り終えると、駅員さんが確認後イヤホンマイクで、「昇降終了確認。」と言っているのを見ました。このような対応で障害者の行動範囲を広げることができるのだと思いました。また、障害者用のトイレも一般のドアより大きく、中も付き添いの人もしょしょに入れるよう広がっていました。障害者の方が少しでも助かる工夫だと思いました。

しかし、そうでもない所もあります。例えば観光名所や世界遺産などは、歩道が階段や急な坂道だったり健常者でも歩くことが大変な所が多いと思います。古くからあるものを壊して、スロープやエレベーターなどを作るのは大変困難だから仕方がないのかもしれませんが。結果として歩くことが不自由な人が行く所が限られてしまうのです。文化財保護法というものがあり、

スロープやエレベーターを作るには文化庁に許可を得なければなりません。だから、バリアフリーを進めるため、障害に対してもっと深く考え、改善する必要があると思いました。

日常生活の中で、いくつか障害者が助かる工夫もあります。呼び鈴は聴覚障害者の方にとって音が鳴っても聞こえません。そのため、誰かが来たら光で伝えるようになってます。災害が起きた時、聴覚障害者の方は、サイレンや避難指示が聞こえません。そのため、例えば臭気火災警報器というものがあります。わさびの臭いが出てきて、気が付かせるようになっています。

私は、障害者の身になって考えるときさまざまな災害がありますが、もし気が付けなかったら、とても怖いと思ってしまいます。災害の情報をラジオやテレビで聞くにも生中継だと字幕や副音声が出ていとはかぎりません。物資の配布があっても、アナウンスを聞くことができず、受け取れないこともあります。そのためには、周りの人が気付いてあげることが大切なのです。

普段の生活の中においても、ちょっとした工夫で改善することができます。例えば、バンダナやベストなどで障害者ということを知りの人に気付かせることによって、状況がはあくできるようにになります。小さなことから私でもできることを見つけ、実行し、周りに伝えていこうと思います。そうすれば障害者との距離感がなくなり、ずっと住みやすい社会になっていくと思います。そのために、私は努力していこうと思います。



手話をする
ぐんまちゃん

平成28年度最優秀作品・中学生部門

私の妹

伊勢崎市立宮郷中学校 3年 井野愛莉

「あ。笑ったよ。お母さん。」
今から四年前私の妹は生まれました。とても可愛いくて早く抱っこしてあげたかったです。しかしすぐには抱っこしてあげることができなかったのです。

私の妹は障害を生まれつき持っています。生まれてきたときは私はすぐに妹と会うこともできず、ガラス越しで見ている毎日でした。私は小4でまだ詳しく妹の病気のことは分かりませんでした。毎日毎日私は前橋の病院へ行き妹に会いに行きました。ガラス越しでも妹ががんばっている姿を見ると私もがんばろうと妹から勇気をもらうことができました。

そんな生活が長く続きました。妹は幼い体なのに何回も手術をしました。手術のとき、家族はみんな願っていました。「成功しますように。」と。なんで妹はなんにもしていないのに病気にかかるのだろうと毎日思いました。私が変わってあげたいと何回も思いました。

障害のある人となしの人とのふれあいは大切だと私は思いました。今変わってあげたいと思っても変わってあげられないのです。だからこそ自分ができることそれは障害のある人とふれあい同じ気持ちになることが大切なのではないかなと思います。私がこう言うのは生まれたときからずっとがんばっている妹がそばにいるからだと思います。妹とふれあうことで相手の病

気をしっかり知りそばにいて、手をにぎるだけで少し安心感を与えることができるからです。

しかし最近ではこんなニュースを目にしました。それは障害者を狙った殺人事件です。容疑者は、障害者を邪魔者扱いをしないくなくばいいなどと言っていたのです。そのニュースを母と見ていてとても心が痛みました。亡くなってしまった方がいる中同じ障害者の家族を持つ私たちからすれば、憎しみや悲しみがありません。こんなことをして誰が喜ぶのでしょうか。それはただ容疑者の自己満足だけだと思いました。激しい怒りが私にはあります。このような事件が少しでもなくなるように一人一人心がけてほしいです。

このように私がここまで強い思いがあるのは妹と同じく障害者の方を守りたいからです。妹が生まれてきてくれたからこそ妹が今日も明日もずっと近くにいることで私は毎日元気がでます。障害の「ある」「ない」は関係ありません。「ない」人が「ある」人へふれあうこと。そして相手のことを考え理解することから一つ一つの問題は消えていきます。私は今日も明日もずっと妹が大好きです。妹は今がんばっています。しっかりと妹の手をにぎってあげたいです。

平成28年度最優秀作品
小学生部門

館林市立第四小学校

3年 浅野 海斗

「もうどう犬は、
わたしのパートナー」



平成28年度最優秀作品
中学生部門

前橋市立南橋中学校

1年 吉田 天龍

「奏でる個性、
認め合って絆のハーモニー」



「手足の不自由な子どもたちを守り育む運動」実施要項

趣旨

障害の有無にかかわらず、皆が同じ地域で共に安心して生活できる社会が求められています。肢体不自由児・者への理解の促進と療育思想の普及を徹底し、自立及び社会参加の支援等その福祉の増進を図ります。

手足の不自由な子どもたちのために、「星野富弘氏・花の詩画クリアファイル」「ぐんまちゃんクリアファイル」「ぐんまちゃんふせん」「ぐんまちゃんメモ帳」を使いましょう。

目的

群馬県内では、様々な原因により手足に不自由のある子どもたちが、困難の中にありながらも毎日一生懸命に生活しています。群馬県肢体不自由児協会では、障害を持ちながらも頑張っている子どもたちが地域で心豊かに安心して生活できるよう支援するとともに、幅広い方々に療育思想の普及と理解を図ることを目的とした事業を行っています。その資金は、クリアファイル・ふせん等の募金を中心とした寄付金により支えられています。

それらの事業資金取得を目的としている「手足の不自由な子どもたちを守り育む運動」に、皆様方のあたたかいご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

1. 頒布品	クリアファイル(各1枚) メモ帳(1冊) ふせん(1冊)	150円 100円 200円
2. 寄付金募集期間	平成29年8月1日～平成30年2月10日	
3. 寄付金の 用途について	手足の不自由な子どもたちを守り育てていくために、各種事業の財源として大切にに使わせていただいております。 <ul style="list-style-type: none">● 肢体不自由児療育思想の普及・啓発事業● 肢体不自由児高校生への奨学金交付● 肢体不自由児への卒業記念品贈呈● 肢体不自由児のための教材助成● 群馬県肢体不自由児者父母の会連合会への助成● ふれあい交流事業(関係団体に対する補助金助成)● 障害者スポーツ選手強化事業● 心の輪を広げる体験作文・障害者週間のポスター募集、作品集発行	

平成28年度「手足の不自由な子どもたちを守り育む運動」結果報告書

平成28年度「手足の不自由な子どもたちを守り育む運動」は皆様方のご協力により、下記の通り大きな成果を収めることができました。ここに昨年の結果をご報告申し上げますと共に、皆さま方の深いご理解と温かいご協力に対し、厚くお礼申し上げます。

収入の部

頒布品	頒布組(枚)数	金額(円)
ぐんまちゃんふせん	20,098冊	4,019,600
クリアファイル	32,110枚	4,816,500
合計		8,836,100

支出の部

ふせん・クリアファイル購入費	2,561,820円
頒布に要した経費	1,948,000円
計	4,509,820円

益金

4,326,280円

益金使 途概要

内訳	金額(円)	備考
啓発普及事業	746,770	「手足の不自由な子どもたちを守り育む運動」の普及啓発及び「友情の作文と図画」募集
肢体不自由児援護	2,820,510	肢体不自由児高校生への奨学金の交付、肢体不自由児への卒業記念品贈呈
関連団体支援等	759,000	肢体不自由児者父母の会連合会への助成、ふれあい交流事業への助成等
計	4,326,280	

クリアファイル・メモ帳・ふせん申込書

品名	数量	金額
星野富弘氏・花の詩画クリアファイル 「生きているから」	150円 枚	円
ぐんまちゃんクリアファイル	150円 枚	円
ぐんまちゃんメモ帳	100円 冊	円
ぐんまちゃんふせん	200円 冊	円
合計		円

上記の通り申し込みます。

※お申し込みは合計金額500円以上でお願いします。
(送料・郵便局払込手数料は当協会負担のため)

平成 年 月 日

〒 ー
住 所

学 校 名
企 業・団 体 名

電 話 番 号

ご 担 当 者 様 名

お申し込み
方法

FAXにて当協会までお申し込みください。

FAX.027-224-4776

お問い合わせ

群馬県肢体不自由児協会 TEL.027-226-2634

送金方法

頒布品に同封する振込用紙(手数料は当協会負担)にて到着後2週間以内にお振込みください。(お手数ですが、振込用紙にお振込金額、学校名・企業・団体名・ご担当者様名等のご記入をお願いします。)

※頒布品がなくなり次第、終了とさせていただきます。予めご了承ください。

主催：群馬県肢体不自由児協会

後援：群馬県／群馬県教育委員会／(公社)群馬県医師会／(公社)群馬県身体障害者福祉団体連合会
(社福)群馬県社会福祉協議会／日本赤十字社群馬県支部／(社福)群馬県共同募金会
群馬県肢体不自由児者父母の会連合会(順不同)